

感染症一覧

《登園時に医師の承諾が必要な感染症》

| 病名 | 主要症状 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|-----------------------------|--|--|--|
| インフルエンザ | 突然の高熱、のどの痛み、ふしぶしの痛み、だるさなどがみられる。 | 症状がある期間(症状が出る24時間前から症状が出た後の3日程度までが最も感染力が強い) | 発症後5日(発熱した日を0日目とする)を経過し、かつ解熱後3日(解熱した日を0日目とする)を経過してから |
| 麻疹(はしか) | 咳、目の充血、高熱が3～4日続き、4～5日目から全身に発しんが出る。きわめて状態が悪い。 | 症状が出る1日前から発しんが出た後4日後まで | 解熱後3日(解熱した日を0日目とする)を経過してから |
| 風疹 | 軽い発熱とともに全身に発しんが出る。首のリンパ節がはれる。 | 発疹が出る7日前から発しんが出た後7日くらい | 発疹が消失してから |
| 水痘(みずぼうそう) | はじめ赤い発しん、もりあがって水疱になる。かゆみが強い。水疱は4～5日がかさぶたになる。発熱もみられる。 | 発疹が出る1～2日前から発疹がかさぶたになるまで | すべての発疹が痂皮化してから |
| 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | 耳の下がはれる。痛みがあり、触ると痛がる。発熱もみられる。 | 症状が出る3日前から耳下腺がはれた後4日まで | 耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になってから |
| 咽頭結膜熱(プール熱) | 5日前後続く高熱、のどの痛み、目の充血がみられる。 | 発熱、目の充血などがみられる数日間 | 主な症状が消え2日経過してから |
| 流行性角結膜炎(はやり目) | 目が充血し、まぶたのはれがみられ、涙や目やにが多く出る。片目だけにみられることが多い。 | 目の充血、目やに等症状が出現した数日間 | 感染力が強いため結膜炎の症状が消失してから |
| 急性出血性結膜炎 | 強い目の痛み、目の充血や白目の出血がみられる。発熱や頭痛もみられる。 | 症状がある間(ウイルスは便から数週～数ヶ月排泄される) | 感染の恐れがないと認められた後 |
| 結核 | 発熱、咳、食欲低下、呼吸困難などがみられる。 | 痰から菌が出なくなるまで | 感染の恐れがないと認められた後 |
| 百日咳 | 特徴のある咳き込み(コンコンコンと咳き込んだ後にヒューと息を吸い込む)がみられる。 | 咳が出始めて2週間くらい(抗菌薬を服用しない場合、咳が出始めてから3週間を経過するまで) | 特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正の抗菌薬治療が終了した後 |
| 腸管出血性大腸菌(O-157、O-26、O-111等) | 激しい腹痛、水様の下痢がみられ、血便が出る。 | 症状がある間(適切な治療を受け、便に菌が出なくなるまで) | 症状が治まり、かつ、抗菌薬治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認された後 |
| 髄膜炎菌性髄膜炎 | 咳や鼻水などからはじまり、高熱、激しい頭痛、嘔吐がみられ、首が硬く動きづらくなる。けいれんもみられる。 | 症状がある間(適切な治療を受け、菌が出なくなるまで) | 感染の恐れがないと認められた後 |

《登園時に保護者が園に届け出る必要のある感染症》

| 病名 | 主要症状 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|--------------------------|--|--------------------------------------|---------------------------------|
| 溶連菌感染症 | 強いのどの痛み、発熱、頭痛、発しんなどがみられる。 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間 | 抗菌薬内服後24時間以上経過した後 |
| RSウイルス感染症 | 咳や鼻水からはじまり、しだいにゼイゼイしてくる。発熱もみられる。 | 症状が出てから通常3～8日(乳幼児では3～4週も続くことがある) | 症状が安定した後 |
| マイコプラズマ肺炎 | 発熱、咳、痰がみられ、頑固な咳が長期間続く。夜間、早朝の咳がひどくなる。 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間 | 症状が安定した後 |
| ヘルパンギーナ | 2日前後の発熱、のどの痛みがみられる。のどに特徴的な水疱、潰瘍ができる。 | 発症後数日間(便中には1か月程度ウイルスが出続ける) | 解熱し、普段の食事がとれることを確認後 |
| 手足口病 | 2日前後発熱し、その後手のひら、足のうら、口の中に水疱が出る。 | 発症後数日間(便中には1か月程度ウイルスが出続ける) | 解熱し、普段の食事がとれることを確認後 |
| 伝染性紅斑(りんご病) | 頬が赤くなり、腕や太もみに発しんが出る。熱はでない。 | 発疹出現前の1週程度 | 全身状態が安定してから |
| ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノウイルス等) | 突然吐きはじめ、腹痛、水様の下痢がみられる。ときに便がレモン色や白色になる。発熱もみられる。 | 症状がある間と、症状消失後1週間程度(便中には数週間ウイルスが出続ける) | 主な症状が消え2日経過してから |
| 帯状疱疹 | 胸や腹から背中にかけて帯状の赤い発しんが出て、その後水疱になる。顔や足にもみられる。大人とちがって子どもはあまり痛がらない。 | 水疱を形成している間 | すべての発疹が痂皮化してから |
| 突発性発しん | 発熱が3～5日間続き、解熱後全身に発しんが出る。発熱時、比較的機嫌は良い。 | 発熱している間 | 解熱し、全身状態が良くなってから |
| 伝染性膿痂疹(とびひ) | 鼻の周辺や湿疹、虫さされなど、ひっかいたところが赤くなり水疱ができてただれる。火の粉が飛ぶように全身に拡がりやすい。 | 効果的治療開始後まで | 皮膚が全て乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度になってから |
| アタマジラミ | 多くは無症状だが頭皮のかゆみがみられることがある。頭髪の中にいる虫体や毛髪に付着した虫卵がみられる。 | 産卵から最初の若虫が孵化するまでの期間は10～14日間 | 駆除を開始後 |

- 証明書及び登園届は次項以降に付いています。コピーしてお使いください。また、豊島区のホームページからもダウンロードできます。
- 感染症が疑われる場合は、登園前に受診し、集団生活の可否を確認するようにしましょう。
- 区外で受診の際、登園停止基準が異なる例もあり、医師の証明があっても登園を見合わせていただくこともあります。
- この他の伝染する病気については、「学校保健安全法」及び「保育所における感染症ガイドライン」の定めに従います。